



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL http://www.intrance.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 麻生 正紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門管掌 (氏名) 濱谷 雄二 TEL 03-6803-8100
 兼経理・総務部部长
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,622	—	379	—	363	—	362	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 362百万円(—%) 23年3月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2,514 92	2,160 75
23年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,564	2,122	42.5
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,090百万円 23年3月期 一百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年3月期	—	0 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成24年3月期の期末配当予想については、現時点において未定であるため記載しておりません。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	—	281	—	219	—	219	—	1,520 80

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(有限会社ムーアゲイト・インベストメント)、除外 1社

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	144,305株	23年3月期	144,305株
24年3月期3Q	302株	23年3月期	302株
24年3月期3Q	144,003株	23年3月期3Q	132,495株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後に一時自粛ムードから弱含みとなった生産活動や個人消費に改善の兆しが見られたものの、欧州の金融市場の混乱や海外経済の減速、長引く円高進行により企業収益の悪化が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界では、オフィスなどの賃貸市場においては、依然として空室率の高止まり傾向が続き、賃料水準も弱含みで推移するなど引き続き厳しい状況下にあるものの、好立地物件・商品性の優れた物件を中心に高い稼働率を維持しております。また、不動産売買市場においては、東日本大震災後、取引を見合わせるなどの動きが一時期見られましたが、J-REITの公募増資や金融機関の不動産向け融資の環境改善等に伴い、取引は回復傾向にあります。

このような状況下、当社グループは、プリンシパルインベストメント事業において財務内容の健全性を維持し、販売用不動産の売却活動及びバリューアップ案件の発掘に注力してまいりました。また、ソリューション事業においてフィービジネスの領域拡大・確立を図ってまいりました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,622,286千円、営業利益は379,862千円、経常利益は363,014千円、四半期純利益は362,156千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業におきましては、販売用不動産7物件(区分所有マンション4戸含む)を売却したことにより売上高は1,029,916千円、セグメント利益は246,099千円となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、不動産開発プロジェクトに係るコンサルティング業務や仲介手数料等のフィービジネスの確立、及び管理受託物件数の増加等により売上高は592,370千円、セグメント利益は445,975千円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきまして、流動資産は現金及び預金の130,590千円、営業投資有価証券の137,096千円、及び販売用不動産の2,095,003千円等により2,489,015千円となりました。固定資産は投資有価証券の50,000千円等により75,394千円となりました。この結果、資産合計は2,564,410千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきまして、流動負債は販売用不動産の取得に係る借入金250,000千円と未払金の63,832千円、及び預り敷金の66,000千円等により441,796千円となりました。この結果、負債合計は441,903千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきまして、株主資本は1,090,109千円、新株予約権は42,204千円、少数株主持分は990,000千円となりました。この結果、純資産合計は2,122,507千円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末からの増減の状況については記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移しておりますが、第4四半期は販売用不動産の仕入及びバリューアップに注力することから、通期の業績予想につきましては平成23年11月10日に公表しました数値に変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、有限会社ムーアゲイト・インベストメントの発行済株式の全部を取得し、同社を子会社化いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	130,590
売掛金	11,467
営業投資有価証券	137,096
販売用不動産	2,095,003
その他	114,858
流動資産合計	2,489,015
固定資産	
有形固定資産	6,900
無形固定資産	2,288
投資その他の資産	66,206
固定資産合計	75,394
資産合計	2,564,410
負債の部	
流動負債	
短期借入金	250,000
賞与引当金	4,957
その他	186,839
流動負債合計	441,796
固定負債	
その他	106
固定負債合計	106
負債合計	441,903
純資産の部	
株主資本	
資本金	930,497
資本剰余金	700,497
利益剰余金	△538,409
自己株式	△2,476
株主資本合計	1,090,109
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	193
その他の包括利益累計額合計	193
新株予約権	42,204
少数株主持分	990,000
純資産合計	2,122,507
負債純資産合計	2,564,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,622,286
売上原価	930,211
売上総利益	692,075
販売費及び一般管理費	312,213
営業利益	379,862
営業外収益	
受取利息	27
未払配当金除斥益	550
その他	15
営業外収益合計	592
営業外費用	
支払利息	9,808
資金調達費用	7,179
その他	451
営業外費用合計	17,439
経常利益	363,014
税金等調整前四半期純利益	363,014
法人税、住民税及び事業税	858
法人税等合計	858
少数株主損益調整前四半期純利益	362,156
四半期純利益	362,156

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	362,156
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	193
その他の包括利益合計	193
四半期包括利益	362,349
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	362,349
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	プリンシパル インベストメント事業	ソリューション事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,029,916	592,370	1,622,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,029,916	592,370	1,622,286
セグメント利益	246,099	445,975	692,075

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。